

企業情報の調べ方

ここでは企業情報とは、企業の概要から財務情報を含む詳細なデータまでの幅広い情報をいいます。図書館で利用可能なさまざまな資料を紹介します。

調べるための基礎知識

「企業情報」は、主に以下のような種類に分類されます。求める情報に合わせて的確に資料を選択しましょう。

01. 業界情報

業界情報とは、生産量、販売額、従業員数などの統計の他、市場規模、業界展望、製品価格、マーケットシェア、ランキング、業界名簿などの情報をいいます。



業界規模の推移、現状の課題や業績、今後の見通しや影響を与える経済動向などを分析できます。

02. 企業概要

企業概要とは、企業の所在地や連絡先をはじめ、代表者氏名・主要事業・売上高などの情報をいいます。



企業の規模、ビジネス内容等、企業の全体像を把握するのに最適な情報です。

03. 財務情報

「財務諸表」や「決算書類」などの報告書が主な情報源です。企業の具体的な財務内容が掲載されています。



特定の数字を抜き出して、その割合や伸び率などを調査することで、収益性や安全性をはじめとした、“企業価値”を分析できます。

04. 社史

社史（会社史）とは、企業が自社の歴史をまとめた資料です。企業の性質などを知るために「社史」は重要な情報源となります。



企業の歴史を調べるには最適な資料です。また、経営史研究の基本資料としても活用できます。

図書館では、企業分析に役立つさまざまな関連図書を所蔵しています。蔵書検索(OPAC)を使い検索してみましょう。以下の項目では、図書館で所蔵している主な資料やその検索方法、また利用可能なオンラインデータベースを紹介します。

01. 業界情報

☆...図書 ◎...雑誌 △...CD-ROM/DVD-ROM

☆『会社四季報業界地図』【配置場所：2階開架(学習用資料)】
業界全般の情報がわかりやすく図版やグラフを使って簡略に掲載されます。

☆『〇〇業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』
【配置場所：2階開架(学習用資料)】
それぞれの業界の最新の動向やしきみについて項目ごとに細かく解説されています。業界への理解をさらに深め、解像度を高めるのに最適です。

02. 企業概要

◎『就職四季報』【配置場所：2階開架(学習用資料)】
数種類ありますが、企業概要を調べる時は「総合版」と「優良・中堅企業版」が最適です。会社データのほかに、給与や従業員数、離職率など、就活に必要な情報も掲載されています。

◎『日本の企業グループ(週刊東洋経済 臨時増刊)』【配置場所：2階開架(参考図書)】
上場企業（外国企業を除く）傘下の国内グループ会社各社や有力な未上場企業のグループ会社の概要が掲載されています。

◎『外資系企業総覧(週刊東洋経済 臨時増刊)』【配置場所：2階開架(参考図書)】
主要な在日外資企業を取り上げています。資本金5千万円以上で外資比率が49%以上の主要企業は詳細なデータが、その他外資比率が20%以上の企業は主要データが収録されています。社名、業種、企業国籍などさまざまな項目で調べられます。

03. 財務情報

◎『会社四季報』【配置場所：2階開架(参考図書)】
業界担当記者が取材によって全上場企業の業績を独自に2期予想している企業情報誌です。財務情報だけでなく、企業の概要も掲載されています。

☆『産業別財務データハンドブック』【配置場所：2階開架(参考図書)】
証券取引所に11年以上上場を続けている企業（金融・保険を除く）の財務データを産業別に集計した資料です。

◎『財政金融統計月報』【配置場所：3階雑誌架】
財務省で公表されている主要な統計資料などを基に財政、金融、経済の重要な事柄について解説されています。

◎『株式公開白書』【配置場所：2階開架(参考図書)】
新規上場企業の動向を資本政策、財務指標、ファイナンス状況など様々な角度から分析している資料です。

△『NEEDS』日経財務データ
企業財務、株式・債券、マクロ経済、産業統計など事業会社・金融機関の財務データを長期、網羅的に収録しています。

△『CD・Eyes50：TSR企業情報ファイル 500000』
日本の大企業から中小企業まで50万社の企業情報を収録しています。
(上場区分・代表者・所在地・設立年月・資本金・従業員数・業種・最新3期の決算など)

04. 社史

図書館で所蔵している社史を調べる

図書館蔵書検索システム (OPAC)で請求記号に「HK」を入力して検索すると、所蔵している社史が一覧できます。閲覧したい企業名をキーワードに入力します。



図書を使い他機関が所蔵している社史を調べる

☆『会社史総合目録』

【配置場所：2階開架(参考図書)】
 専門図書館協議会会員機関を中心とした全国50機関が1992年3月現在所蔵の、明治以降日本で発行された会社史8,828点と経済団体史1,367点を収録しています。

社史が収録されている資料

☆『日本会社史総覧』

【配置場所：2階開架(参考図書)】
 1950年代初頭に存続していた企業と主要な業種の動向をまとめた資料です。第2部「日本会社史」に、業種別に約1,000社の会社情報が掲載されており、企業の所在地、資本金、工場・事務所、社史などが調べられます。

05. 図書館の資料で調べる

請求記号の欄に以下のような「分類番号(+数字)」を入力して検索すると、所蔵している文献や資料が一覧できます。該当資料が多数あり、検索可能件数を超過した場合は検索条件(キーワードや出版年など)を追加し、絞り込みを行いましょ。

【分類番号とは】

日本十進分類法(NDC)に基づき、図書の内容によって0から9の数字を使い、10の大きなテーマにグループ分けしている番号です。そのため分類番号は図書のジャンルの表しています。

企業情報に関連する分類番号一覧(一部) (NDC新訂10版)

335 : 企業. 経営 335.2 : 経営史. 事情
 336 : 経営管理 366 : 労働経済. 労働問題
 673 : 商業経営. 商店 673.78 : 個々の小売店
 675 : マーケティング

検索結果一例 (請求記号の欄に「/673.78」と入力して検索)



06. データベース

※[DB]...オンラインデータベース

データベースには、総合的な企業情報を検索できるものと特定分野の情報検索に特化したものがあります。

企業情報総合データベース

●総合企業情報データベースeol [DB]

上場企業と非上場企業の企業情報検索や、有価証券報告書全文の閲覧ができるデータベースです。有価証券報告書は1961年以降の全文を収録しています。



●東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー[DB]

『週刊東洋経済』『会社 四季報』など、東洋経済新報社の経済・ビジネス・企業情報誌をネットで検索・閲覧できるデータベースです。



新聞記事データベース

- (朝日新聞) 朝日新聞クロスサーチ [DB] 【収録年：昭和20(1945)～最新】
- (産経新聞) 産経新聞データベース [DB] 【収録年：平成4(1992)～最新】
- (毎日新聞) 毎索 [DB] 【収録年：明治5(1872)～最新】
- (読売新聞) ヨミダス [DB] 【収録年：明治7(1874)～最新】
- 日経テレコン21 [DB]

日本経済新聞社のオンラインデータベースです。全国主要企業の財務状況、役員、売上構成などを収録しています。独自の連載記事、企業・ビジネス界のトピックスや特集記事など幅広い情報を検索できます。
 ※検索・出力は有料です。図書館員が代行検索いたします。
 図書館2階メインカウンターでご相談ください。

特定分野データベース

●企業史料統合データベース [DB]

財務諸表や営業の概況などが記述された「営業報告書」、企業の事業計画・見通しについて詳細に記述された「目論見書」、そして「営業報告書」の後身ともいべき「有価証券報告書」これら3つの史料群からなる約1万4千社 21万5千件を収録しています。企業名・収録期間・業種・フリーワードでの横断検索が可能なデータベースです。



●EDINET [DB]

(<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/>)

金融庁が提供する有価証券報告書閲覧サイトです。最近5年以内に提出された上場・未上場企業の有価証券報告書を収録しています。HPで公開されているため、自宅からもアクセスして利用できます。

●銀行変遷史データベース [DB]

(<https://www.zenginkyo.or.jp/library/hensen/>)

明治以降に設立されたすべての銀行の沿革データが登録されており、その前身・後継の銀行を順に調べられるデータベースです。HPで公開されているため、自宅からもアクセスして利用できます。